

寄付のお願い(一杯の愛のお米プロジェクト)

「あなたがたが彼らに食べる物を与えなさい」(マタイ14:16)

現在、多くの人々がコロナウイルス感染による緊急事態宣言の影響を受けて、失業したり、アルバイトをできなくなっている状態が生じています。そのため生活を維持できなくなっている人々が数多く出ています。

その中で、本センタースタッフのニャー神父は協働する方々と「一杯の愛のお米プロジェクト」を立ち上げました。今後さらに生活を送るのに困難な状況の人々が増えると予想されます。その方々の切実な要望に応えたいと思い、本センターもこのプロジェクトに協力することにいたしました。

皆様方もさまざまな形で苦しい状況の人々のために奉仕をしておられますが、このプロジェクトにも参加して下さるようお願い申し上げます。

なお、ご寄付をいただく際は、以下の口座に送金して下さるようお願いいたします。

① 郵便振替

加入者名 イエズス会社会司牧センター

口座番号 00140-4-94839

※ 通信欄に「おこめプロジェクト」とお書きください。

※ 郵便局の「青色の振替用紙」でお振込みください。

② 銀行振込

銀行名 三菱東京 UFJ 銀行

支店名 東京女子医大出張所

加入者名 カトリックイエズスカイ シヤカイシボクセンター

口座番号 0086058

◆お問い合わせ先(担当:ニャー神父)

☎03-5215-1844 もしくは 080-4208-2309

お米や保存食(乾麺、インスタント食品、缶詰など)、調味料、衛生用品(マスク、消毒薬など)の現物をご寄付いただける場合は、下記住所宛てにお送りください。

※ 衣類や生鮮食料品はお受けできません。 恐縮ですが、送料はご負担願います。

〒332-0012 埼玉県川口市本町2-4-15

シスターマリア・ラン気付「一杯の愛のお米プロジェクト」宛

「一杯の愛のお米プロジェクト」について

「一杯の愛のお米プロジェクト」は、4月9日に発足しました。目黒教会のペトロマリア・グエン・フー・ヒエン神父と聖ヴィンセンシオ・ア・パウロの愛徳姉妹会のシスターマリア・レ・ティ・ランと私で立ち上げたプロジェクトです。4月から多くの方から「食料に困っている」や「仕事がなく、生活出来ない」というメッセージが入って来たからです。愛徳姉妹会のシスターたちとイエズス会社会司牧センターで働いている私が窓口になっています。

当初、食品に困っている人々は少ないと思っていましたが、日本中から申請がたくさん来ています。私たちはベトナム人の共同体に呼びかけて、お米が余っている人々からお米を送って頂き、他の食品をたくさん持っている人々から食品を送って頂いています。もちろん現金を寄付してくれた方々もいます。お金を頂いて、足りていない食品を買って、準備して、困っている人々へ送ります。今までに送った一人分は、以下のような内容です。

- ・お米 5キロ
- ・揚げ油 1リットル
- ・ナンプラー 1リットル
- ・砂糖 1キロ
- ・ラーメン 5個
- ・マスク 2枚
- ・カップラーメン 2個
- ・お菓子や振りかけ など

これらの食品を用意するために約5千円かかります。また、宅急便代は大体1,500円なので、合計すると一人分は約6,500円になります。



5月9日までに、全国に約2,000人分を送りましたが、現時点の申請者リストでは、まだ600人以上が送ってもらうのを待っている状態です。個人情報を守るために、このリストを見せることはできませんが、簡単に数えてみたところ、長崎教区や広島教区だけで80人、大阪教区は約100人、名古屋教区は110人、さいたま教区は50人、東京教区は80人などです。

私たちは最初、困っている人々は少なく、小さな規模で何とか出来ると思っていました。今、この状態になっているので、もっと多くの方々のご協力が必要だと分かってきました。すでに、山口県にある下関労働教育センターの方々と細江教会のディン神父（イエズス会）、大阪教区・仁川教会の和越敏〔Emmanuel Binh〕神父（コンベンツアル聖フランシスコ修道会）、それに名古屋教区で働いているタン・ヒ神父（神言会）と若者たちの協力を求めています。これからも出来る範囲までやり続けたいと思っています。

どうかお祈りとご協力を頂ければ幸いです。

2020年5月2日（5/13更新）
イエズス会社会司牧センター スタッフ
ヨセフ・グエン・タン・ニャー SJ